

環境経営レポート

＜2023年度版＞



活動期間：2023年6月1日～2024年5月31日

発行日：2024年8月23日

日本電設サービス株式会社

— 目 次 —

1. 組織の概要	1P
2. 対象範囲	1P
3. 実施体制	2P
4. 許可取得一覧	3P
5. 環境経営方針	4P
6. 環境経営目標	5P
7. 環境経営計画	6P
8. 環境経営目標の実績と評価	7P
9. 2022年度実績の評価	8P
10. 環境経営活動の結果と評価・次年度の取組	9P
11. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反訴訟などの有無	10P
12. 代表者による全体評価と見直し・指示	10P
13. 地域貢献活動	11P

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

事業所名 日本電設サービス株式会社
代表取締役 吉澤 均二

(2) 所在地

本社・事務所 〒384-0805
長野県小諸市己字高峯96-5

資材置場 〒384-0805
第1 長野県小諸市己字高峯95-2
第2 長野県小諸市己字高峯96-8

松本営業所 〒390-1242
長野県松本市大字和田4020-25
Tel : 0263-88-9239

上田営業所 〒386-0152
長野県上田市大屋28-14
Tel : 0268-36-4520

(3) 環境管理責任者・連絡先

責任者 取締役 宮下 健司
連絡先 Tel : 0267-22-0311
Fax : 0267-22-9616
e-mail : miyashita.kenji@nitidens.com

(4) 許可事業内容

総合建設業（土木工事業、電気工事業、管工事業、舗装工事業
水道施設工事業、電気通信工事業）

(5) 事業の規模

創業 1992年12月18日
資本金 30,000,000円
売上高 279,000,000円

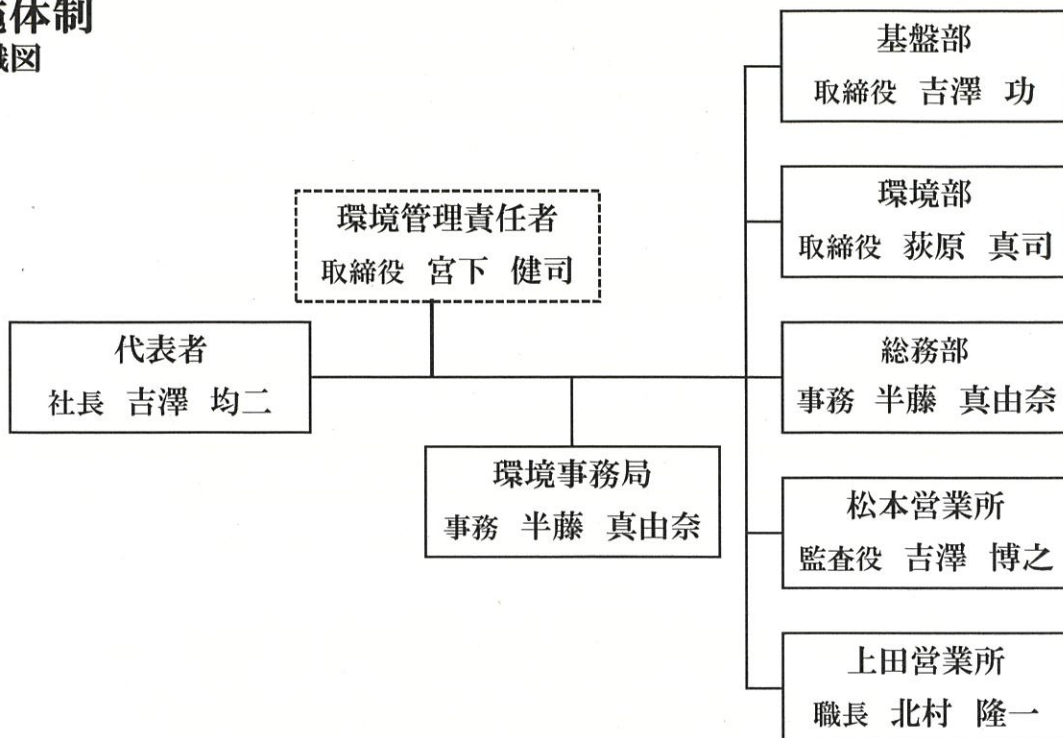
	本社	松本営業所	上田営業所
従業員数	16名	7名	4名
敷地面積	1,970m ²	100m ²	1,000m ²
資材置場	8,980m ²	-	400m ²

2. 認証・登録の対象組織・活動

全組織・全活動・全従業員が対象である
事業年度及び環境経営レポート対象期間：2023年6月1日～2024年5月31日

3. 実施体制

1) 組織図



※ 各テーマ別のグループを結成、責任者を任命して、改善活動を推進

2) 責任及び権限

代表者	- 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 - システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 - 環境方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 - 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
管理責任者	- 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視、結果を代表者に報告する。 - 推進委員会を定期的開催し、活動内容と問題点の確認と改善を指示する。 - 法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。 - 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し承認する。 - 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
事務局	- 環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局。 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 - 環境目標・活動計画原案の作成及び実績の取りまとめ - 環境活動レポートの作成、公開(社内に備付けと地域事務局への送付) - 活動の実績結果を収集、環境管理責任者に報告する。
部門責任者	- 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 - 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境方針、環境目標を基本に定められた活動計画に従い業務を遂行する。 - 環境負荷の低減、品質向上、安全の確保と業務改善の提案 - 異常時、緊急時の報告

4. 許可取得一覧

(1) 建設業に関する許可

長野県知事許可(特-3)18821号 令和3年 5月25日
 土木工事業 電気工事業 とび・土工工事業
 石工事業 管工事業 電気通信工事業
 舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業

(2) 廃棄物の運搬処理に関する許可

許可				認可日	有効期限	許可		含有物有無	
行政	種類	番号	年月日			種類	台数	石綿	水銀
長野県	収集運搬	2000149570	H21.6.22	R6.6.22	R11.6.21	収集運搬	12台	無	無

※自社の事業活動に伴う運搬のみ、生業とはしていない。

(3) 収集運搬許可車両

車種	車両形状	台数
2T	平ボディ	5台
2T	ダンプ	3台
3T	ユニック	1台
4T	ユニック	2台
14T	大型トラック	1台

<建設車両>

車種	台数
YDR-LTE 12380kg	1台
SB-B9X 7800kg	1台
CRW01615 0.25m ³	1台
BTN00875 0.13m ³	1台
K0514713 0.066m ³	1台

5. 環境経営方針

《基本方針》

日本電設サービス株式会社 スローガン

安全第一主義

先ず、安全・利益を生むは現場なり

お客第一主義

誠実な企業活動から、お客様に最高の笑顔と信頼できる商品を提供いたします

地域敬愛主義

企業価値を最大限高め、地域に貢献いたします

自然との共生：無駄な資源の破壊をしない

地球環境の保全：自然を慈愛し地球をいたわる、建設業工事の理を生かし、
温暖化社会に決別し、自然環境保全重視にシフトいたします

行動指針

- 1、事業活動において、コンプライアンスに努めます。
- 2、事業活動における、電気、燃料、廃棄物、水道などの削減とリサイクル100%達成に向けた取組をします。
- 3、地域に密着した事業活動と、ボランティア活動への積極的参加をします。
- 4、自社・社員を含めた、アイドリングストップ、エコドライブ等を推進しCO2排出量の低減に取り組めます。
- 5、環境経営方針は全社員に周知し、定期的な教育を行い、環境意識の向上に取り組めます。
- 6、環境経営の継続的改善を実施します。
- 7、環境に配慮し、環境破壊に繋がらない施工を推進します。

制定日 2020年1月10日

日本電設サービス株式会社

代表取締役 吉澤 均二

6. 環境経営目標

2023年6月～2024年5月

項 目		単 位	基準値(2022年)	2023年目標	2024年目標	2025年目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2	188,313	186,430	184,547	182,664
		(%)	100%	99%	98%	97%
	電 力	kWh	8,657	8,570	8,485	8,400
	ガソリン 本社・上田・松本計	ℓ	12,861	12,732	12,605	12,479
	軽 油 本社・上田・松本計	ℓ	53,782	53,244	52,712	52,185
	灯 油 本社・上田計	ℓ	5,499	5,444	5,390	5,336
	プロパンガス	m ³	0.10	0.10	0.10	0.10
廃棄物	一般廃棄物	kg	302	299	296	293
	産業廃棄物		337,105	333,734	330,397	327,093
水削減	水使用量	m ³	287	284	281	278
		(%)	100%	99%	98%	97%
環境に配慮した工事	化学物質	現在使用していない				
	環境に配慮した 工事	実施件数/ 施工件数	環境関連法規 の遵守	100%	100%	100%
			近隣への騒音・粉塵 等の飛散防止及び、 過積載防止に努める	100%	100%	100%

中部電力㈱ 2018年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWhを使用

7. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素削減について

電氣使用量の削減	節電の徹底	→ 事務所、倉庫の不要照明・不要換気扇オフ
	OA機器適正管理	→ 未使用時電源オフ・節電モードの徹底
	エアコン温度管理の徹底	→ 夏季:26℃～28℃ 冬季:20℃～22℃
	退社時電源チェック	→ 目視確認

※対象車両は営業用車両2台と許可取得済み(P5)車両とする

ガソリン、軽油使用量の削減	エコドライブの実施	→ 急発進・急停止排除、経済速度の励行
	アイドリングストップの実施	→ エンジン停止、空ふかし排除
	車両管理の徹底	→ 車両点検、適正空気圧、エンジンオイル等の管理
	運行管理の徹底	→ 最適運行最短距離の選択

灯油使用量の削減	灯油ストーブ温度管理の徹底	→ 冬季20℃～22℃
	退社時電源チェック	→ 目視確認(最終退出者と同伴者)

- (2) 廃棄物排出量の削減
- | | |
|----------|----------------------|
| 一般可燃ごみ削減 | → コピー用紙裏表利用 |
| 混合廃棄物の分別 | → 産業廃棄物と有価物の分別を確実に行う |

- (3) 水使用量の削減
- | | |
|-------|--------------------|
| 節水の徹底 | → 清掃時、手洗い時節水を各自に行う |
|-------|--------------------|

- (4) 環境配慮
- | | |
|-------------------|--|
| 工事毎に、環境に配慮した施工を行う | → 各現場の該当する環境関連法規の遵守
→ 近隣への騒音・粉塵飛散防止に努める |
| グリーン購入 | → 事務用品等の購入時に環境配慮製品を優先する |

8. 環境経営目標の実績と評価

2023年6月～2024年5月

項 目		基準値 (2022年度)	2023年度 目標値		2023年度実績	評価
CO2総排出量(kg-CO2)		188,313	99%	186,430	207,900	112%
電力*1 (kWh)	購入電力	8,657	99%	8,570	8,531	100%
	CO2排出量	3,912		3,873	3,856	100%
ガソリン (ℓ)	使用量	12,861	99%	12,732	11,040	87%
	CO2排出量	29,838		29,539	25,610	87%
軽油 (ℓ)	使用量	53,782	99%	53,244	58,362	110%
	CO2排出量	138,758		137,370	152,851	111%
灯油 (ℓ)	使用量	5,499	99%	5,444	4,091	75%
	CO2排出量	13,693		13,556	10,183	75%
プロパンガス (m³)	使用量	0.10	99%	0.10	0.00	0%
	CO2排出量	0.22		0.22	0.00	0%
廃棄物	一般廃棄物 kg	302	99%	299	280	94%
	産業廃棄物 kg	337,105		333,734	157,083	47%
上下水道(m³)	購入水道量	287	99%	284	317	112%
環境に配慮した 工事	法令遵守	実地件数/ 施工件数	100%	100%	75/75	100%
	騒音・粉塵飛散・過積載 防止			100%	75/75	100%

※*1中部電力(株) 2018年度二酸化炭素調整後排出係数 0.452kg-CO2/kWhを使用

9. 2023年度実績の評価（2023.6～2024.5）

(1) 電力

会社の電気設備をLED化した、置き場の中も照明をLED化したことで使用量を縮小できた。
施設内も、改善できるところは省エネ化に向けた設備改修していく。

(2) 軽油、ガソリン

ガソリン＝燃料の高騰で価格が上昇したが、CO₂ の排出は減少した
軽油 ＝対象事業所が3か所に増えた為、使用量も排出量も上昇した。

(3) 灯油、プロパン

灯油については冬季の温度に左右されるので、一喜一憂はできないので慎重に管理していきたい。
プロパンガスは 殆ど使用していないが、舗装工事表層路盤転圧などで少量だが使用している

(4) 廃棄

土木工事＝舗層板、コンクリートの破碎などで排出するが、工事の受注頻度などで大きく変動する
工事の種別などで管理していきたい。（基本的には全廃棄物を再生可能にすることが目的である。

(5) 上下水道

車両の清掃などで上水道が使われるので、簡易的な井戸などで対応できないか調査中
井戸の掘削などで出資金を抑えることが第一
原因は洗車時の使用水量（作業車・重機などの、塩カルの洗い流し）

(6) 環境に配慮

環境配慮は、工事の中で振動がないか、騒音はないか、地域の方にお伺いし工事ごとに対策を立てることが重要
特に夜間作業などは、静音性の発電機を使用するが深夜になれば苦情の元となるため工事電源などを事前に準備する

10. 環境経営活動の結果と評価、次年度の取り組み

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

	活動計画	取組の結果	評価	次年度の取組
二酸化炭素排出量の削減	1. 環境経営レポート			
	・昼休みの節電(消灯)	消灯できた	◎	今後も持続して取り組みたい
	・エアコンの温度設定冷房26℃～28℃、暖房20℃～22℃	冷暖房の設置達成できた	◎	今後も持続して取り組みたい
	・待機電気機器のスイッチ節電		○	老朽化もあり、立ち上げ時に時間がかかってしまうPCがある為
	・節電ラベルの貼付	貼り付けできた	◎	今後も持続して取り組みたい
	2. ガソリン使用量の削減(基準年比2%削減)	日常点検とアイドリングストップはできた	○	昨年同様、車両の適正な管理に取り組む
	・社有車の日常点検、従業員車2回/年		◎	今後も持続して取り組みたい
	・エコドライブ10の実施(急の付く運転禁止)		○	
廃棄物削減	・適性時期のタイヤ交換(夏/冬、摩耗)	できた	◎	今後も持続して取り組みたい
	3. 軽油使用量の削減(基準年比2%削減)	除雪作業の減少により、消費量は減った	△	遠方の勤務先が多くなった為
	4. LPG使用量の削減(基準年比3%削減)	使用頻度は少ない	◎	今後も持続して取り組みたい
	・夏季の手洗いは水使用	達成できた	○	今後も持続して取り組みたい
用水	・使用量、使用料金の把握と掲示	毎月エコアクションの表を通して把握できた	◎	
	5. 一般廃棄物の削減(基準年比2%削減)		◎	今後も継続して取り組みたい
	・分別と再生利用の促進		◎	今後も継続して取り組みたい
	・計量と分別状況の点検		◎	今後も継続して取り組みたい
社会貢献	・ゴミ箱周辺の見回りチェック		◎	今後も継続して取り組みたい
	6. 水使用量削減(基準年比1%削減)			
	・節水ラベル貼付	貼付した	◎	今後も継続して取り組みたい
	・洗車頻度の見直し	冬季は塩カルなどが付着するので洗車は避けられないが、雨水は凍ってしまう	△	月の方法での節水を考える
業務改善	7. 法令遵守			
	・騒音・粉塵飛散・過積載防止	各現場特性から法務リスク、市域住民への保全を踏査・特定し遵守した	◎	慣例的に取り組むように継続したい
	8. 環境保全活動の推進			
	・会社周辺のゴミ拾い(2回/年)	社員全員参加	◎	継続事業としている
業務改善	9. 身の回りの業務効率化対策			
	・職場の整理・整頓(3カ月毎)		△	保存期間の有る書類などが、なかなか整理できない
	・ゴミ分別案内の貼付	それぞれのおき場に貼付けた	◎	今後も継続していきたい
	・電子機器の電源OFFラベル貼付	立ち上げ時の時間の関係等により、切れないPCがある	×	今後は別の方法を考えたい

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価、並びに違反及び訴訟の有無

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務に適用となる義務規定(一部それ以外を含む。)の主な環境関連法規等とその主な内容

注)チェック欄…○:遵守 ×:不遵守 ✓:該当なし確認 (―:判断なし)

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃油等)の適正処理	契約書・許可書	○
		(電子)マニフェスト	○
騒音防止法	空気圧縮機 (15Kw)	届出書	✓
振動規制法	空気圧縮機 (15Kw)	届出書	✓
消防法(危険物)	消防署への届出、灯油の防油提、	現地点検記録	○
建設リサイクル法	対象建設工事の分別計画書の届け	届出書	○
水質汚濁防止法	浄化槽	点検表	○

(2) 違反及び訴訟の有無

上記環境関連法については、遵守チェックリストにより、確実に法規を遵守していることを確認しました。

また、過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

12. 経営者の見直し評価と指示

【取り組みの概要】

環境負荷への取組

カーボンゼロへの取組

法令遵守

個人情報などの管理の徹底

災害防止と事故ゼロへ

二次災害の防止と人身事故ゼロへの取組

【取り組みの評価】

通年を通して、てある程度の取組は達成できたと思う

参加する社員の取組度に疎らの面がある(改善の余地を残している)

環境重視の教育の徹底と温暖化への抑止力を社員と共有し水平展開する

【今後の取り組み】

地域社会に貢献し、地域密着型の活動と意義を全社員に浸透理解させ、活動の意義を深めていきたい。

冬の除融雪・清掃など通年を通して積極参加し地域との事業の理解と交流を深めたい。

今年度全社スタートとなる為、2022年度を基準とした。

【今後の対策】

収集運搬については運搬時に飛散することが無いようにシート等で密閉して運搬する。

水道の低減と雨水などの活用ができる限り実施する

カーボンゼロの取組に全社一丸となって活動していく、リサイクル活用も確実に履行する。

13. 活動事例紹介

小諸市 高地トレーニングエリア クリーンアップ運動



市役所都市計画課 高所作業車と伐採工事



13. 活動事例紹介

小諸市 降雪時の除雪

